

2019年4月16日

倶知安町長 文字一志様

倶知安町内のイトウ尻別川個体群繁殖地保全の要望

尻別川の未来を考えるオビラメの会
会長 草島清作 事務局長 川村洋司
048-1511 北海道虻田郡ニセコ町ニセコ315-198
電話090-8279-8605 kawamura3795@castle.ocn.ne.jp
obirame.sakura.ne.jp/index.html

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

いつも当会のイトウ保護・復元活動をご支援いただき、まことにありがとうございます。

当会は2011年より、4月～5月のイトウ繁殖期に合わせ、尻別川流域にわずかに残る自然繁殖地の24時間監視「見まもり隊」活動を継続しています。地元・倶知安町の住民のみなさまをはじめ大勢の方々のご理解を得て、8期連続でイトウ自然繁殖環境保全を達成しました。しかし、「繁殖親魚を脅かさないで」との呼びかけには、依然として制度的裏付けがありません。ボランティア頼みのパトロールをいつまで継続できるだろうか、という不安も募っており、この態勢での保全活動の限界を痛感しているところです。

ついでには、尻別川イトウ個体群にとって生命線ともいえる当該自然繁殖河川に対し、河川法第1条、北海道生物多様性保全条例第4条、そのほかの法令にしたがって、より確実性の高い保全・復元対策を実施いただきたく、以下の要望をお伝えします。

1. 絶滅に瀕している尻別川イトウ個体群存続にとって非常に重要な自然繁殖地の保護対策を早急に講じてください。
2. 当会が河川管理部局（後志総合振興局）とともに進めている当該河川におけるイトウ繁殖環境復元計画を推進ください。

絶滅危惧種イトウ尻別川個体群の保全・復元のためにさらなるご尽力をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具